

# 令和 6 年度霧島市健康・生きがいづくり推進協議会 会議要旨

開催日時	令和 6 年 11 月 14 日（木） 15 時 30 分～17 時		
開催場所	霧島市役所別館 4 階中会議室		
出席委員	吉満委員、河野委員、遠矢委員、本田委員、林田委員、斉藤委員、池田委員 久保委員、森園委員		
事務局	有村保健福祉部長 【健康増進課】鮫島課長、赤水健康づくり推進グループ長、上小園保健予防グループ長、徳重主査、窪田主事 【すこやか保健センター】種子島所長、坂口地域保健第 2 グループ長、大田地域保健第 1 グループ長 【こども発達サポートセンターあゆみ】中島グループ長		
公開・一部非公開又は非公開の別	公開	傍聴人数	0 人
<p><b>議事</b></p> <p>(1) 健康きりしま 21（第 4 次）各分野の取組について</p> <p>(2) その他</p>			
<p><b>協議結果等の概要</b>      <b>委</b>：委員      <b>事</b>：事務局</p> <p>(1) 健康きりしま 21（第 4 次）各分野の取組について 委員からの主な意見や質問は以下のとおり。</p> <p><b>委</b>：国民健康保険加入者のデータより、運動による医療費や病院受診率等の変化等のデータがあると、運動の効果に関する説得力が増し、医療費削減にもつながると思われるがいかがか。</p> <p>⇒<b>事</b>：運動と医療費削減との相関を示したデータの実状はない。特定健診の質問票に運動習慣について項目はあるが、健診データや医療費との比較を直接結びつけることは難しい。今後は生活習慣の部分と健診データとの比較をみることも検討する。</p> <p><b>委</b>：提案の一つとして、中高校生を対象に、煙草を含めた違法薬物の出前講座を実施し、子ども達が帰宅後に直接親に喫煙を止めるよう伝えてみてはどうか。子どもから親に伝えると実行性や効果があると思われる。</p> <p><b>委</b>：歯・口腔の健康分野の個別目標 2 や個別目標 3 の項目毎のデータ元についてお聞きしたい。</p> <p>⇒<b>事</b>：毎年歯周病検診を実施しており、受診者へアンケートに回答いただいている。そのアンケートの集計結果より抽出したデータとなっている。</p> <p><b>委</b>：要望だが、歯・口腔の健康分野の個別目標 2 の指標項目「歯周病等の症状がない市民の割合」の対象者を 30 歳以上と一括りしているが、もう少し年齢を細分化しないと全体像が掴みにくく分かりにくいと思われる。</p> <p>⇒<b>事</b>：指標については、国の指標に合わせているため、現在の形となっている。今回の資料にはないが、年代ごとの歯周病の状態については継続して確認している。</p> <p><b>委</b>：心の健康の分野における自殺について、病院に搬送されるケースをみると、適切な場所に受診できていないことを感じる。心療内科や精神科を受診するだけでなく、継続してカウンセリングが受けられることが重要である。そのためには患者と医師、心理士との相性</p>			

も非常にあることを大前提に、窓口相談にきた方にはアドバイスをして頂きたいと思う。  
⇒事：相談の中で本人が精神科や心療内科を受診するまでが決心つきにくいということがある。周囲が気づいたり本人の話を少しでも傾聴するなど、周囲の相談体制の必要性もある。そのため未然に防げるよう啓発や取り組みを継続していく。

委：霧島市の自殺死亡率について、令和4年から令和5年は減少しているが、これは全国的にも減少しているのか。それとも全国とは逆行して減少しているのか。

⇒事：令和3年から令和5年までの本市・鹿児島県・全国の自殺死亡率について説明。経年的にみると全国はやや横ばいの状況で、本市は令和元年をピークに経年的に減少している。

委：食育分野の個別目標3に関して、指標ごとに目標値へ近づけるための取り組みの根拠に関するデータはあるのか。もしデータがあるならSNSで発信するといった方がいいか。

⇒事：食育検討委員会の委員が所属する関係団体と協力し、リーフレットや掲示物の媒体を用いてPRするなど今後の展開を検討している。

委：食育分野の「主食・主菜・副菜をそろえて食べる回数を増やすために必要なこと」のアンケート対象と、回答者の食事に関する困りごとの有無をお聞きしたい。

⇒事：子育て世代を対象としたアンケートのデータになる。対象者全員に同じ質問内容を聞いた結果である。

委：がん検診について、計画書資料の部分別死亡割合の項目には男女ともに膵がんがあるが、協議会資料のがん検診項目には膵がんがない。何か理由があるのか。

⇒事：膵がんは早期発見する方法がなく、現在鹿児島大学の消化器内科にて血液で早期発見ができないか研究されているレベルである。新しい方法が分かれば、膵がん検診も項目に入ると思われる。

委：もともと乳がん検診受診率は高かったが、2017年度から2021年度にかけて半分ほどに減少しているが、減少した理由は何か。またコロナ禍が落ち着いてきたが今後受診率は微増するか。

⇒事：乳がん検診受診率の高い時期が、ちょうど委託先の検診機関を変更した時期と重なり新しく予約制を導入し関心が高まった時期だと思われる。コロナ禍の影響で受診率は下がったが、完全予約制になった為、リピーター受診の方がいたり、若い世代の受診率が高くなっている傾向がある。年代別では40代が26.8%と最も高い受診率である。

#### 【その他意見】

委：アンケートの方法をアプリ等に変更すると、より多くの回答が得られ母集団も霧島市全体に近くなり、実態に即した状況が把握でき正しい数字が網羅できると思われるので、今後検討してはどうかと思う。

⇒委：教室によってはQRコードからの申込を受け付けている。今後はアンケート部分にも広げていき、活用しながら広く意見を拾うことができるといいと思われる。

(2) その他  
なし

会議資料

#### 【配付資料】

○令和6年度霧島市健康・生きがづくり推進協議会資料